

JACET Kansai Newsletter

No. 56 April 8, 2011

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 野口 ジュディー (武庫川女子大学) (Chapter President: Judy Noguchi, Mukogawa Women's University)

事務局: 〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3 同志社大学 言語文化教育研究センター 西納春雄研究室内

(Chapter Office: c/o Haruo Nishinoh, Institute for Language and Culture, Doshisha University)

E-mail: jacetkansaichapter@gmail.com URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

On the Eastern Japan earthquake-tsunami disaster

Judy Noguchi

On behalf of the Kansai Chapter, I wish to express deep concern for the safety and well-being of our Tohoku colleagues and their loved ones who were hit by the devastating earthquakes and tsunamis in March. Only last September, many of us were in Sendai for the 49th Annual Convention at Miyagi University. It was a great shock to see the news footage of Sendai Airport where I remember chatting with many Kansai colleagues while awaiting the return flight to Osaka. In addition to this, Japan is now struggling to deal with the crippled nuclear power plant in Fukushima. The road to recovery will be an arduous one. Having experienced the Hanshin-Awaji earthquake, I realize that the aftereffects will remain long after any outward revival. I am at loss for words.

What can JACET do for you?

Chapter President Judy Noguchi

It is April again and another new academic year. Some of us will be taking on new jobs with new responsibilities while others will be continuing in their positions but with new students. No matter how inexperienced or experienced we are, as professionals, we must all continue to learn and develop.

One way to ensure that we stay up-to-date and current is through professional organizations such as JACET. They serve as fora where we can come into contact with colleagues having similar interests and share experiences, opinions and most importantly, ideas and concepts to further advance our professional expertise. They offer networks that can join us with other professionals at global, national and local levels.

Conferences, where we can actually meet active participants in our disciplines, are one way of getting involved. This year, many of us will be participating in international conferences around the world and, of course, the JACET 50th Commemorative International Convention in Fukuoka from August 30 to September 2 at Seinan Gakuin. Please also remember that the Kansai Chapter will be celebrating its 40th year with a commemorative conference on November 27, 2011 (Sunday) at Mukogawa Women's University in Nishinomiya. Be sure to "red-letter" that date on your calendar now!

Publications are another important aspect of a professional organization. Many of us were involved in the JACET 50th Anniversary Publication Project in 13 volumes which are being published as *A Series of Studies on English Education*. At the chapter level, we are proud of the *JACET Kansai Journal*, which continues to develop and grow with many papers being offered for consideration. JACET publications, including chapter publications, are in the process of being registered with CiNii, the National Institute of Informatics Scholarly and Academic Information Navigator. This will allow our papers to reach a greater number of professionals. Another publication in the processing stage is the JACET Secondary Classology Research Committee project of classroom reports to be published in March 2012. This will also be available online and thus reach a wide audience. Start thinking about what you can write about in your field of expertise for one of the JACET publications.

Lectures and seminars are still another way of disseminating information and encouraging active discussions. For this academic year, the Kansai Chapter will start off with what should be a very interesting symposium (see announcement in this newsletter) on recent developments in cognitive science and how they can inform language teaching and learning. As we are

channeling funds and efforts into the 40th anniversary chapter conference this autumn, the Kansai Chapter General Assembly Meeting will be held on the same day, June 18th, at the same venue. Be sure to come, learn and be heard.

As you can see, JACET is trying to do a lot for you as a professional but can only be truly successful if its individual members become willing and active participants in its many activities. The more you participate, as a writer for JACET publications, a reviewer of papers and proposals, a discussant at seminars and symposia or a volunteer in committee activities, the more you will learn and benefit. It all boils down to “What can you do for JACET?”

■今年度のイベント・カレンダー■

日時(date)	行事・概要(event)
2011/6/18	第1回支部講演会@同志社大学今出川校地 JACET Kansai Chapter 1 st lecture meeting ・関西支部総会・支部役員会
2011/9 (詳細日程は 後日発表)	2011年度関西支部大会(40周年記念 大会)発表公募締切 Call for papers for the JACET Kansai Chapter Autumn Conference
2011/10/1	第2回支部講演会@神戸国際会館 (仮) JACET Kansai Chapter 2 nd lecture meeting ・支部役員会
2011/10/15	JACET Kansai Journal『JACET 関西紀要』14号(40周年記念号)投稿原稿締切 Call for papers for JACET Kansai Journal No. 14
2011/11/27	2011年度関西支部大会(40周年記念 大会)@武庫川女子大学 JACET Kansai Chapter Autumn Conference (40 th Commemorative Conference) ・関西支部臨時総会
2012/3/3	第3回支部講演会@関西学院大学大 阪梅田キャンパス(仮) JACET Kansai Chapter 3 rd lecture meeting ・支部役員会
2012/3/31	JACET Kansai Journal『JACET 関西紀要』14号(40周年記念号)刊行 Publication of JACET Kansai Journal No. 14

上記は、現時点で今年度に予定されているJACET 関西支部の活動です。是非ご予定下さい。なお、上記イベントは、諸事情により、断りなく日程・場所・内容等に変更が生じる場合がございます。最新情報は JACET 関西支部のホームページ (<http://www.jacet-kansai.org>) にて随時更新しておりますので、ご確認下さい。

■事務局が交代しました■

4月1日より、支部事務局が同志社大学西納研究室に移りました。連絡先は本NLの冒頭をご覧ください。これから1年間、関西支部事務局の仕事を担当させていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。新事務局は、野口支部長、小栗副支部長、そして6名の幹事で構成されます。総務が西納・植松、会計が平井・東郷、広報・紀要が生馬・金丸の各幹事です。このうち、植松・東郷・金丸の3名は新任です。

今後、この新体制で協力し合いながら関西支部活動の活性化に向け尽力し、会員の皆様にとって当支部をますます有意義で魅力あるものにしてゆければと考えております。皆様の温かいご理解、ご支援をよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、昨年度お世話を頂きました支部幹事の皆様、誠に有り難うございました。

同時に、役員にも一部変更がございました。詳細はHPの支部役員一覧でご確認ください。下記に、ご退任される旧事務局幹事、旧会計幹事、旧広報・紀要幹事、旧研究企画委員、旧社員の先生方よりメッセージをいただきました。

■Messages from Officers Finishing Terms of Office■

The JACET Kansai Chapter Office has moved to Nishinoh's Office at Doshisha University. The contact information is in the banner.

◎旧事務局幹事：幸重美津子先生（京都外国语大学外国语専門学校）

野口先生、小栗先生のご指導のもと、幹事各位の支えによって2年間総務幹事の仕事を務めさせて頂きました。充分な働きもできませんでしたが、学会の運営がいかに多くの先生方のご尽力によるものであるかを知り、また参加するという貴重な機会を与えて下さったことに感謝致します。今後は微力ながら社員として、学会発展の一助となるべく努めて参りたいと思います。これまで多くを学ばせて下さいました先生方の温かいご指導とご協力に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

◎旧会計幹事：竹蓋順子先生（大阪大学）

私事ですが、関東支部から関西支部に移籍して早6年が経とうとしています。この間の2年間、木村元支部長、そして野口支部長のもと、会計幹事として多くのことを学ばせて頂きました。文字通り右も左も分からぬ私でしたが、皆さまの助けをお借りして無事に任務を終えられることを大変有難く思います。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

◎旧広報・紀要幹事：山西博之先生（関西外国語大学）

2年間、支部事務局の一員として、多くのことを勉強させていただきました。色々と至らぬ点があり、支部長の木村先生、野口先生をはじめとする先生方には大変ご迷惑をおかけしました。この度、幹事としての任期を無事終えることができたことに感謝しつつ、今年度から新たに仰せ付かりました研究企画委員としての役目をしっかりと務めさせていただく所存です。

◎旧研究企画委員：赤松信彦先生（同志社大学）

2009年度より1期2年間、研究企画委員を務めさせていただきました。本来ならば、もう1期務めさせて頂くべきところですが、本務校業務の都合で、ご無理を聞いて頂きました。在任中は、学会への貢献よりも学ばせて頂くことの方が多いように感じております。特に、他大学の先生方と様々な交流の機会を得たことは大きな財産となりました。本当にありがとうございました。

◎旧研究企画委員：日野信行先生（大阪大学）

研究企画委員を4年間つとめさせていただきましたが、自分は大してお役に立つことができず、歴代の研究企画委員長であられる林桂子先生、東眞須美先生、横川博一先生、そして研究企画委員の先生方の御世話になるばかりで、まことに申し訳ありませんでした。おわびを申し上げるとともに、先生方から賜りました御厚誼に心より御礼申し上げます。

◎旧研究企画委員：池田真生子先生（関西大学）

東先生、横川先生のお二人の委員長のもとで、研究企画委員を務めさせていただきました。微力ではございましたが、他の先生方のお力添えを賜り、何とか任期を終えることができました。大会を成功させるべく他の委員の先生方と楽しくお仕事をさせて頂けましたことを、心よりお礼申し上げます。関西支部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

◎旧研究企画委員：加賀田哲也先生（大阪教育大学）

短い間でしたが、不慣れな私にも研究企画委員として学会活動に参加する機会を与えてください、ありがとうございました。ただ、公私の理由で役員会にも出席できないことが多々あり、先生方にはご迷惑をお掛けいたしましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。これからは一員として勉強させていただきます。皆様方の今後ますますのご健勝と学会のご発展を心よりお祈り申し上げます。

◎旧研究企画委員：笹井悦子先生（桃山学院大学）

2期4年間、林委員長、東委員長、横川委員長のもとで、温かいご指導をいただきながら務めることができました。素晴らしい先生方との出逢いに恵まれ、委員会や大会運営などと一緒に楽しく仕事をさせていただきました。大変勉強になりました。この貴重な経験はかけがえのない一生の宝物です。心から感謝しております。関西支部活動の益々のご発展をお祈りしています。

◎旧研究企画委員：清水裕子先生（立命館大学）

支部長を軸に、研究企画委員長を初めとする役員の先生方と共に仕事をさせていただく中で、点と点が結びつき、線となり、面となって支部大会につながっていくことを実感する機会を得たことに感謝しております。これからも、JACET関西という組織が、一人でも多くのメンバーにとって、有意義且つなごやかな（！）研究発表の場、情報交換と交流の機会になることを願っております。研究企画委員として力不足でしたが、皆様に補っていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。

◎旧研究企画委員：植松茂男先生（京都産業大学）

林先生、東先生、横川先生の歴代委員長の下で委員を4年間務めさせていただきました。JACET関西研究企画委員の皆さんとは一見和やかに見えますが、仕事のできる方ばかりであります。こうした雰囲気の中、ただ単に学会で知己を得るだけでなく、英語教育に対する一方ならぬ情熱を先生方から感じ、充電させていただきました。新たに研究企画委員に加わられる先生方も、同じ感覚を持たれることと思います。委員の先生方にはご迷惑もおかけましたが、その都度ご助力をいただきましたことに心から感謝しております。ありがとうございました。

◎旧社員：松浦勉先生（滋賀県立大学非常勤）
2002 年研究企画委員に始まり、評議員を経て 2008 年の法人化に伴い社員となり、本年で足かけ 10 年務めさせていただきました。この間十分な仕事もできませんでしたが、諸先生方の学会活動にかける熱意と行動力から、ボランティア精神の真髓に触れることができましたことは大きな収穫であり、諸先生方と一緒にできましたことに感謝しております。いろいろとお世話になりました皆様に心より御礼申し上げますとともに、学会の益々の発展を祈念致しております。

■ 昨年度関西支部秋季大会の報告 ■

2010 年度関西支部秋季大会が 2010 年 11 月 27 日（土）に関西学院大学・国際学部（上ヶ原キャンパス）で開催されました。大会テーマを「今、求められる大学英語教育における授業の方向性」として、ワークショップ・研究発表・実践報告および大会テーマに関するシンポジウム（「今、求められる大学英語授業とは？— 授業実践の取組から」）が開かれました。

秋季大会がスムーズに運営できたのは、大会開催に向けて周到な準備をしていただいた研究企画委員の先生方の献身的なお力添えがあつたことでした。特に、会場校の先生方のご尽力がなければ、このような素晴らしい支部大会は開催できませんでした。また、ご参加いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

The JACET Kansai Chapter Fall Conference (Theme: "Future Directions for Classes in University English Education") was successfully held on November 27 at Kwansei Gakuin University, Uegahara Campus. The program included a symposium ("Meeting Current Demands in the University English Classrooms"), a workshop, research reports and application reports.

■ 昨年度第 3 回支部講演会の報告 ■

2010 年度の第 3 回支部講演会（教材開発研究会企画によるシンポジウム）が 2011 年 3 月 12 日（土）に関西学院大学 大阪梅田キャンパスで開催されました。

司会：野口 ジュディー 先生（武庫川女子大学）
講師と演題：

- (1) トム・ガリー先生（東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻・教養学部准教授／ALESS プログラム マネージング・ディレクター）
「東京大学教養学部における理系英語プログラムの試み」

- (2) 田地野 彰先生（京都大学高等教育研究開発推進センター大学院人間・環境学研究科外国語教育論講座教授）
「学術研究に資する英語教育を目指して—京都大学の取り組み—」

講演には 50 名の参加があり、発表後は講師の先生方と参会者との活発な議論が展開されました。講演者らによる率直な指摘により問題が浮き出され、現在、言語教育の最前線で活動し英語教育をさらに推進させようとしている我々への問題提起、勇気をもたらすものとなりました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

The 3rd Lecture Meeting of the 2010 academic year was held on March 12th at Kwansei Gakuin University Umeda Campus, with 50 participants. An active discussion followed the presentations of Associate Professor Tom Gally of Tokyo University and Professor Akira Tajino of Kyoto University, with questions and comments from the audience. The frank descriptions of problems and issues faced by the presenters in trying to initiate and propel advances in language education were revealing and can serve as a source of encouragement for those of us at the forefront of language education today.

■JACET 関西支部開催講演会のお知らせ■

JACET 関西支部では、今年度も 3 回の支部講演会を計画しております。6 月 18 日に開催される第 1 回支部講演会は、下記の通り招聘講師によるコロキアムを予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2011 年 6 月 18 日（土）15:30～17:00

場所：同志社大学 今出川校地

神学館地下 1 番教室（予定）

司会：清水 裕子 先生（立命館大学）

講師と演題：

- (1) 竹内 理 先生（関西大学）：Brain-imaging と英語教育研究—NIRS を使った読解研究を中心として
- (2) 石川 慎一郎 先生（神戸大学）：日本人英語学習者による L1 処理と L2 処理：MRI 実験の知見から

参加費：JACET 会員は無料、非会員は 500 円

使用言語：日本語

要旨などの詳細は、開催が近づいたら支部 HP に掲載いたしますのでご覧下さい。

The JACET Kansai Chapter will hold the 1st lecture meeting of the 2011 academic year as follows:

- Two invited speakers: Dr. Osamu Takeuchi of Kansai University and Dr. Shin'ichiro Ishikawa of Kobe University
- Dr. Takeuchi: Brain-imaging and EFL Research: Some Findings in NIRS Studies on Reading
- Dr. Ishikawa: L1/L2 Processing by Japanese Learners of English: An MRI-based Study

Date: June 18th, 2011

Venue: Doshisha University, Imadegawa Campus
(http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html).

Details available at the JACET Kansai Chapter website
(<http://www.jacet-kansai.org>).

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

Main language for presentations: Japanese.

involved. At the same time, we owe our reviewers a great debt of gratitude for their time and contributions.

JACET Kansai will celebrate 40th anniversary this year. To commemorate this anniversary we will have a special issue (*JKJ* No.14). Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements available at the end of *JKJ* No.13 or <http://www.jacet-kansai.org/file/toukoukitei.pdf>.

■ 事務局便り ■

支部会員向けの各種案内の配達やマーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変わられた方は、必ずご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局（jacet@zb3.so-net.ne.jp）までお願ひいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers and other information to JACET headquarters (jacet@zb3.so-net.ne.jp).

■ 紀要編集委員会より ■

『JACET 関西紀要』第13号を3月末に会員の皆様に送付させていただきました。今回の支部紀要第13号では、昨年度と同じく1本の論文を2名の査読委員に審査いただきました。そして、条件付き採択となった論文に対しては、担当紀要編集委員が選んだそのうち1名の委員に最終審査を行っていただきました。このような厳密な書き直しのプロセスを経ることによって、掲載論文をさらにより良いものにしていくことができました。短い査読期間で何度も審査していただいた査読委員の先生方には、紀要編集委員会一同、心より感謝いたしております。

次回第14号の支部紀要は、関西支部40周年記念号となります。第14号でも招待論文、一般投稿論文に加え、支部大会や全国大会で発表された内容に基づく論文を募集します。編集委員会では、査読委員の先生方に丁寧に審査を行って頂けるよう、論文投稿締切期日をこれまでより1ヶ月早い10月15日に変更いたしました。JACET関西支部会員の皆様におかれましては、研究・実践の成果を支部紀要で報告していただけるように、**投稿規定**（<http://www.jacet-kansai.org/file/toukoukitei.pdf>）をご確認の上、次号紀要にも奮ってご応募ください。

The *JACET Kansai Journal (JKJ)* Editorial Committee is pleased to present *JKJ* No.13. The first invited article, which was written by the former JACET president Ikuo Koike, is followed by six articles. The selected six articles are the products of many people's efforts and a highly engaged review process. This selection process was educational for everyone